



# 「移住支援や働き方」の取組の実践例と、 「地域アプローチ」による対応策の検討

## 地方公共団体オンライン意見交換会 # 3



2022年12月16日（金） 15:30～17:30 Zoomウェビナー

# 開会挨拶

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

石川内閣参事官

# 本日の流れ

時間（目安）	内容	登壇者
15:30-15:35	開会挨拶	内閣官房デジタル田園都市国家構 想実現会議事務局
15:35-15:40	趣旨説明	NTTデータ経営研究所
15:40-15:55	第1部「“子育て世代の移住支援や 育児をしながら働きやすい環境づくり”に関連する取組」 ・ 長野県伊那市 ・ 岡山県奈義町	NTTデータ経営研究所 第1部ゲストスピーカー
15:55-16:40	パネルディスカッション・質疑応答	
16:40-16:55	第2部「地域の実情に応じた“対応策の検討”と 「地域アプローチ」で求められる都道府県の役割」 ・ 高知県安芸市 ・ 京都府	NTTデータ経営研究所 第2部ゲストスピーカー
16:55-17:20	パネルディスカッション・質疑応答	
17:20-17:25	事務連絡	NTTデータ経営研究所
17:25（予定）	終了	

# 質問方法

- ご質問がある方は、ZoomのQ & A機能から投稿ください。



※時間の関係上、全ての質問に答えることができない可能性がありますので、予めご了承ください。

## 意見交換会の趣旨・目的

- 分野横断的な取組（“広義の少子化対策”）の内容や、取組に至るまでの経緯を知る
- “「地域アプローチ」による少子化対策”の考え方や、実践の手法について理解する
- 実際に少子化対策に取り組む上で生じてくる課題への対策のヒントを得る

# 第1部 分野別の取組事例

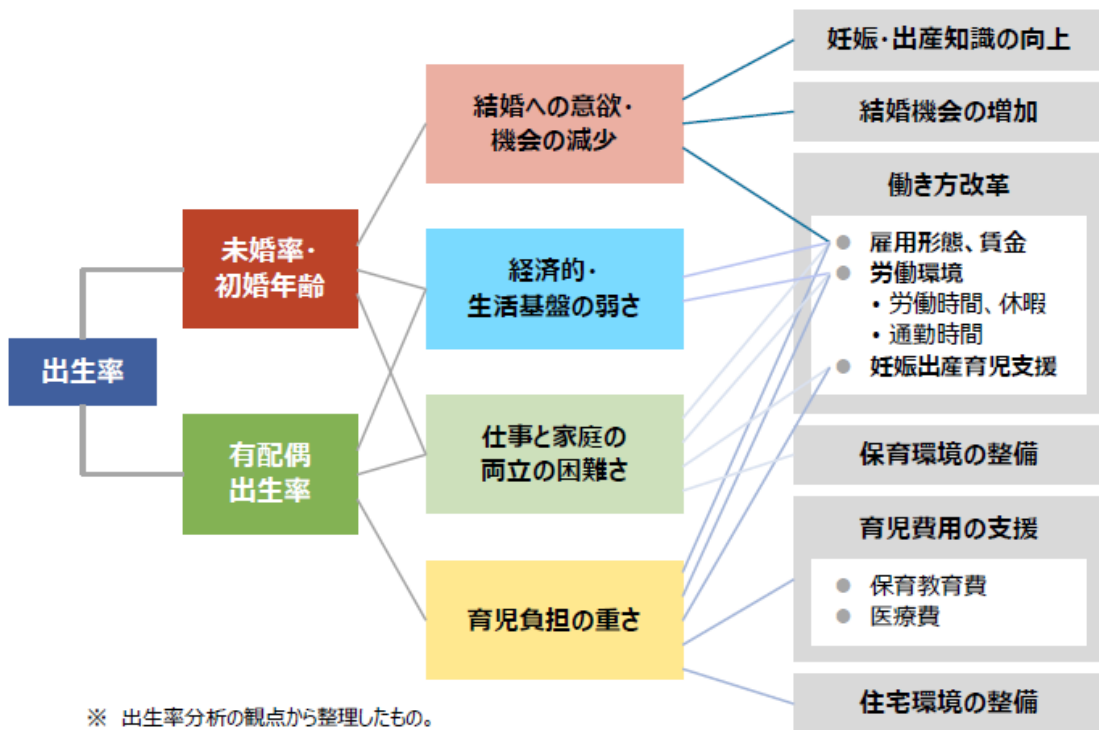
# 地域の実情に応じた幅広い観点からの少子化対策の重要性

少子化の問題については、就業状況や結婚・出産・子育てに対する経済的負担感など地域ごとに様々な要因が絡み合うことで生じています。

地方自治体で少子化対策の取組を進めていくに当たっては、それぞれの自治体で地域ごとの課題を明確化し、これに応じたオーダーメイド型の取組を分野横断的に展開していくことが重要です。

その際に着目が必要な視点として、例えば結婚・出産や子育ての支援に関する取組のほかに、仕事と育児の両立に関する環境整備や経済的負担の軽減、地域コミュニティとの協力など幅広い分野が挙げられます。

## 出生率に影響を及ぼす諸要因 - 分析の観点 -



※ 出生率分析の観点から整理したもの。

(出典) 内閣官房「地域アプローチ」による少子化対策の検討の手引き



第3回では、地域の住民や多様な関係者との連携による **移住支援や働き方の支援** を取り挙げます

# 第1部 分野別の取組事例

## 登壇者紹介

---

### ①長野県伊那市

移住希望者の様々なニーズに応じて、XRやAI等の最新技術も活用したシティプロモーションの取組について

### ②岡山県奈義町

“ちょっとだけ”働きたい子育て世帯と、繁忙期に“ちょっとだけ”手伝ってほしい事業所等をマッチングする「しごとコンビニ」事業について



# 質問方法

- ご質問がある方は、ZoomのQ & A機能から投稿ください。

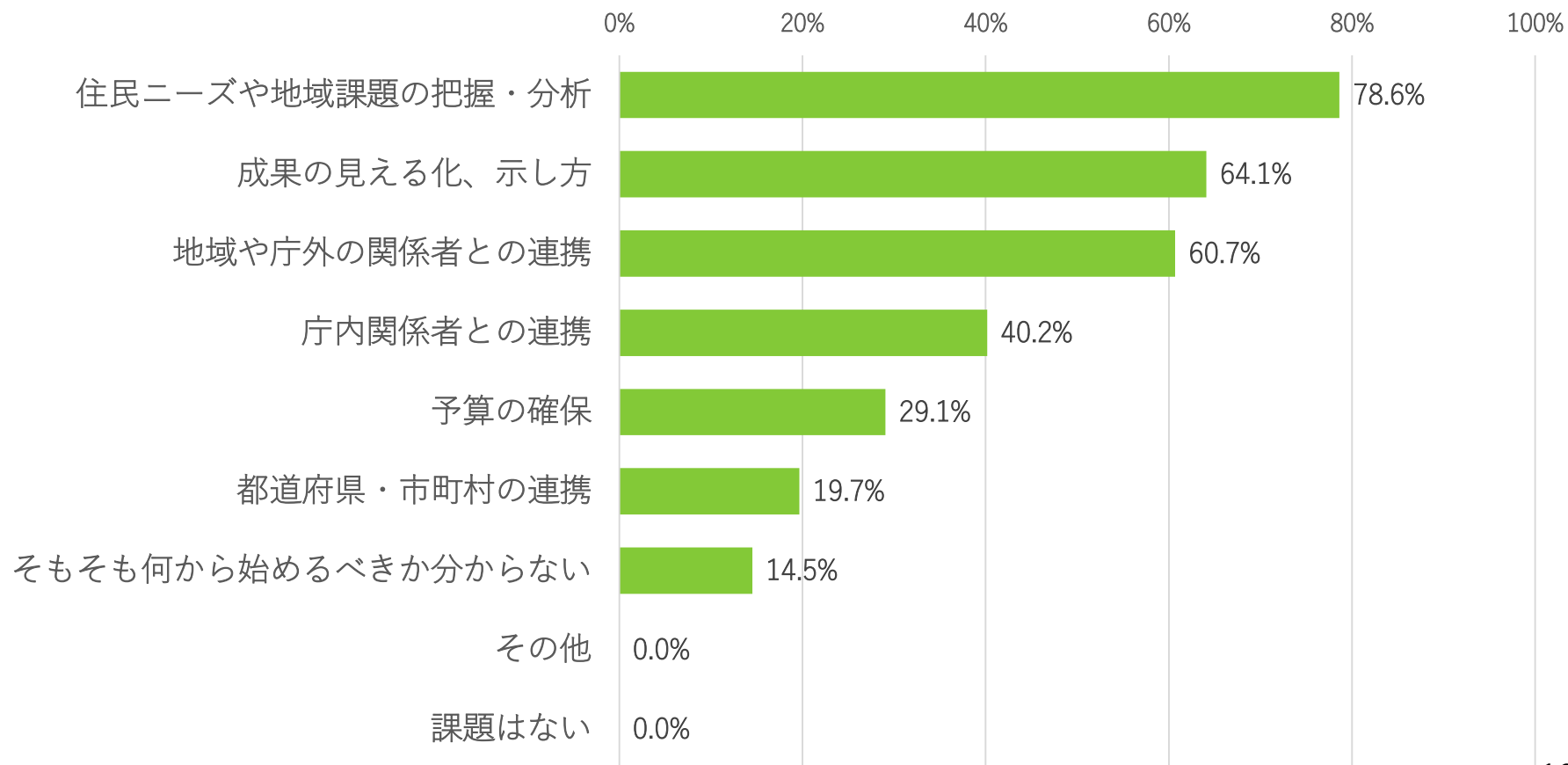


※時間の関係上、全ての質問に答えることができない可能性がありますので、予めご了承ください。

# 第1部 パネルディスカッション

# 第1部パネルディスカッション アンケート結果

## 「移住支援や働き方」について課題意識のある項目



n=130

# 第1部パネルディスカッション

## ①地域課題の把握・関係者との連携プロセス

- ✓ 事業を開始したきっかけは何か。
- ✓ 住民ニーズや地域課題の把握をどのようにして行ったか。
- ✓ 準備段階において、事業者や住民との連携をどのように行ったか。

..... アンケートでご回答いただいた内容（抜粋） .....

- 事業開始のきっかけは何か（市民意識調査の結果なのか、自治体としての危機意識等からくるものなのか）
- 住民ニーズの把握をどのように行ったか。
- 事業の始まりは市からの呼びかけだったか？また、運営主体をどのように探したのか？
- 準備段階での関係団体や事業者との関わり方。（協議会等の組織設立、メンバー、進め方等）
- 行政に提案等していただけるようなやる気のある人や事業者がいたのか？どのように地域や地域の事業者等を巻き込んでいったのか？

# 第1部パネルディスカッション

## ②事業推進上の苦勞・工夫

- ✓ 庁内の様々な関係課との合意形成をどのように行ったか。  
(担当者間の温度差や既存業務との整理などの障壁、苦勞)
- ✓ 移住者への支援に力を入れることに関して、地元住民との合意形成はどのように行ったか。
- ✓ しごとコンビニ事業の運営状況はどのようにになっているか。

..... アンケートでご回答いただいた内容 (抜粋) .....

- 奈義町は町なので担当する業務も幅広く、異動も多いのではないかと思います。事業を進める中で担当者間の温度差などで進めにくくなったことや多岐にわたる業務をこなしながらの関係課の合意形成など苦勞されたことはありませんか。
- 進める上での弊害があったのであれば教えていただきたいです。
- 事業運営での課題等をご教授いただきたいです。
- 移住者に力を入れることで、既存住民との軋轢はないか。
- 現在、当該地にすんでいる方の支援との両立。移住者に主眼をおくことにより、不平不満等が住民からでることはないのか、またそれを緩和するような政策等はおこなっているのか伺いたいです。
- しごとコンビニでマッチングする企業・事業所にはどのようにアプローチをしてちょっとだけ働きたい人への仕事を見つけて（作って？）きているのでしょうか？また、どの様な企業・事業所（仕事）がちょっとだけ手伝って欲しい仕事として出てきているのでしょうか？
- 「しごとコンビニ事業」はどの分野の事業所の登録が多いですか。マッチングしやすい条件等がありましたか。
- 岡山県奈義町「ちょっと手伝って」「ちょっと働きたい」という方のそれぞれの年齢層。

# 第1部パネルディスカッション

## ③成果の見える化・示し方

- ✓ 具体的な成果指標及び設定、評価、公表の方法はどのようなものか。また、どのように測定しているか。

---

### アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

---

- 成果をどのように計画して、公表しているか。そのプロセスを聞きたい。
- 成果指標をどのように設定しているか
- 保育園や学校、地域と連携した移住・定住支援の具体的な内容と成果の測定方法
- 移住支援の成果指標で、移住者数以外に何かありますか。また、移住者数の把握方法をご教示ください。
- 「しごとコンビニ」の、費用対効果（投資対効果）及びSROI（社会的投資利益率）の分析方法とその結果が分かっていたら伺いたいです。

# 第1部パネルディスカッション

## ④その他

- ✓ 移住支援や働きやすい環境づくりについて、まずは何から着手すべきか。
- ✓ 移住支援の必要性・あるべき姿はどういったものか。  
(近隣自治体とのパイの取り合いではないか)
- ✓ 都道府県に求める役割や近隣自治体との連携はあるか。

### アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

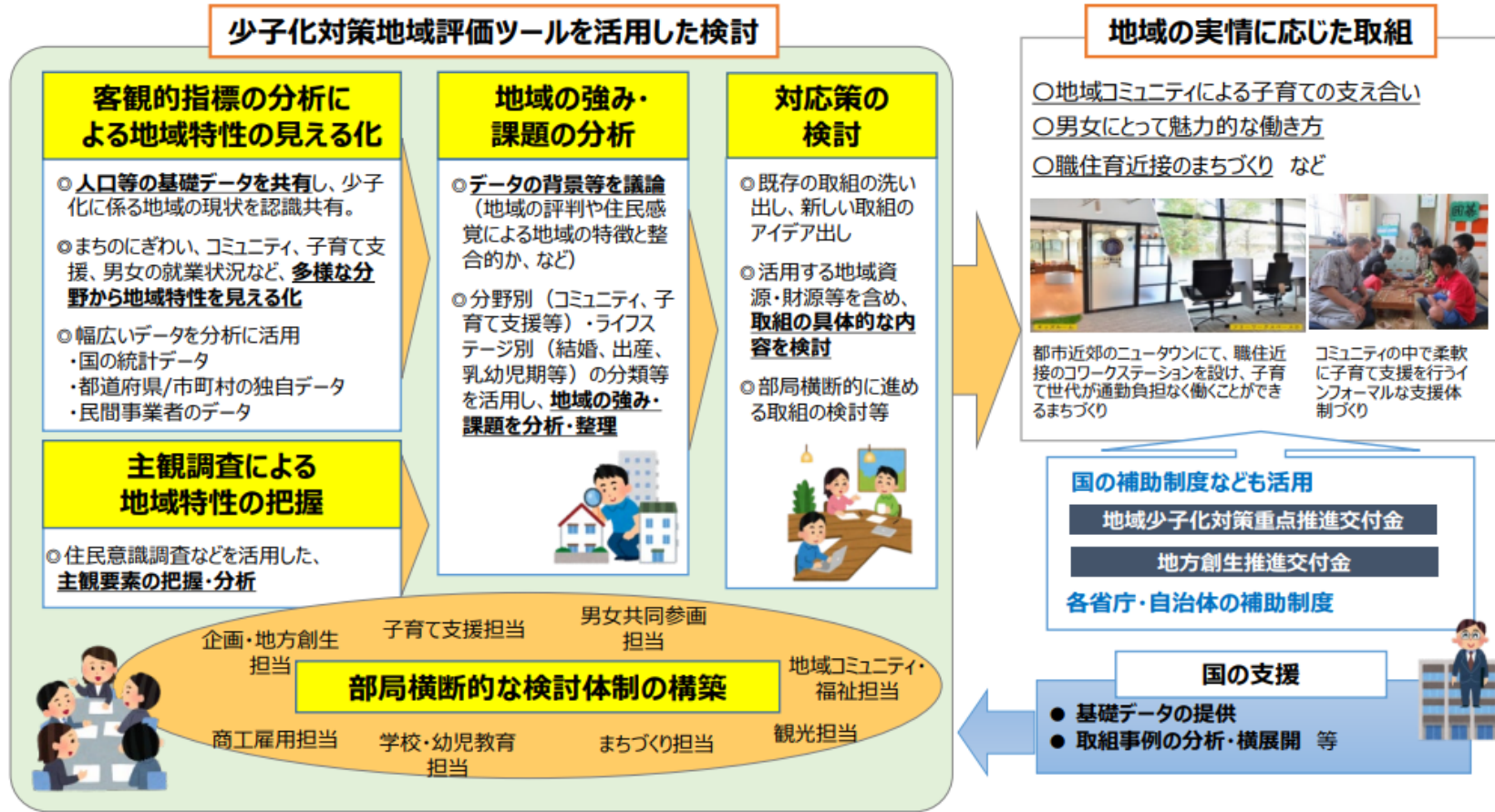
- 利活用できる空き家や宅地を確保できず、移住者の受け皿が不足している。テレワークを活用し、子育て世帯の母親が働きやすい環境づくりを整備したいが、何から始めるべきか分からない。
- 移住支援の必要性は感じているものの、具体的なターゲットや取り得る施策の分析に至っていない。子育て世帯の流入を促進したいものの、現状は近隣自治体間でのパイの取り合いになっており、本質的な少子化対策・人口減少対策にはなっていないと感じている。
- 移住のハードルをあげているものはなにか
- 長野県伊那市 デジタル技術を活用した政策の中で、特に伊那市内のどの地域への移住希望者が多いか。（中心地なのかそれ以外の地域なのか）
- 移住者に対して移動手段など、公共交通に頼れない部分の支援は行っているか。
- 地方創生の面で県や近隣自治体と共同事業や情報共有などはしているか。
- 都道府県に求める役割はどのようなものがありますか。

## 第2部 「地域アプローチ」による取組の進め方



# 「地域アプローチ」による少子化対策とは

少子化については、就業状況や結婚・出産・子育てに対する経済的負担感、子育てと仕事の両立のしにくさなど様々な要因が複雑に絡み合っており、これらの要因は地域によって異なっているため、各地方公共団体が、地域ごとの課題を明確化し、それに応じたオーダーメイド型の取組を分野横断的に展開する「地域アプローチ」による少子化対策を推進することが重要です。



(出典) 「少子化対策地域評価ツール」の活用等を通じた「地域アプローチ」による少子化対策の推進 (内閣官房ホームページ)

## 第2部 「地域アプローチ」による取組の進め方 登壇者紹介

---

令和3年度の調査研究事業で実施した「地域アプローチ」による少子化対策の取組の検討プロセスや成果、現在の取組状況について

① 高知県安芸市（昨年度モデル自治体）

② 京都府（昨年度モデル自治体）

# 質問方法

- ご質問がある方は、ZoomのQ & A機能から投稿ください。



※時間の関係上、全ての質問に答えることができない可能性がありますので、予めご了承ください。

## 第2部 パネルディスカッション

## 第2部パネルディスカッション

### ① 庁内体制の構築

- ✓ エビデンスに基づいた取組を行うに当たって、庁内の関係課との連携体制をどのようにして作り上げたか。
- ✓ データの活用やEBPMの視点を盛り込み、将来的な目的・計画を作成して取組を推進するために、どのような工夫を行ったか。

---

#### アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

---

- アンケート調査結果をふまえた取組をしようとした場合、横のつながりが必要となると思うが、どのように横と連携をはかっていったのか。
- 京都府で今後少子化対策専門の部署を設置される予定はありますか。庁内で連携したプロジェクトチームなどがありますか。
- 将来的な計画を行うために、データ活用・EBPMのような視点は欠かせないが、目的を定めてその収集や活用に進めるためにどのようなことを行ったか、トップが号令を飛ばせるような形にしていったかを聞きたい。

## 第2部パネルディスカッション

### ②「地域アプローチ」の検討プロセス

- ✓ アンケート等の調査設計における工夫
- ✓ 検討を進める中で苦勞した点
- ✓ 小規模市町村での有効なデータ収集・活用方法
- ✓ 「地域アプローチ」による取組の成果はどういったものか。

---

#### アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

---

- アンケートの問いを作るのに何を参考としたか。
- 住民アンケートの内容
- 進める上での弊害があったのであれば教えていただきたいです。
- 当町は人口3,000人の小規模な自治体です。母数が小さい地域でのデータの収集、有効な活用方法を知りたい。
- 地域アプローチの実践事例、対応策検討までの具体的な流れ（データの収集方法、分析手法など）、成果が出ていればその成果について
- 新規事業を進めていく中で、新たに出てきた課題や市民・職員から寄せられた意見はありましたか。

## 第2部 パネルディスカッション

### ③ 都道府県の役割

#### ✓ 市町村と都道府県との役割分担

#### ✓ 市町村との連携やニーズ把握について、どのような取組を行っているか。

#### ✓ 府内全域に取組を広げる際の課題

#### ..... アンケートでご回答いただいた内容（抜粋） .....

- 少子化対策については、県と市町村で重複して同じことをするのではなく、それぞれの役割を担うべきと考えるが、その役割分担をどのように考えているか？
- 地域アプローチを実施する上で、都道府県に求める役割とはどのようなものがありますか。
- 京都府さんの「見える化ツール」開発、その後の支援事業にあたり、自治体との連携やニーズの把握が重要ではないかと推察しております。そのプロセスについてお聞きしたいです。
- （京都府様）府内全域に取組みを広められる予定ですか。その際に課題に感じていることはありますか。

# 事務連絡



## アンケートご協力のお願い

- 本日の感想をお寄せください。
- パネルディスカッションにて回答した内容が事前アンケートでご質問いただいた趣旨と異なっていた場合には、その旨をご記載ください。調整の上、改めて回答させていただきます。

意見交換会 # 3 参加者アンケート

<https://questant.jp/q/CLKGJ00L>



## 次回のご案内（予定）

- 第4回は下記のテーマで開催します。

開催日時：2023年2月22日（水）14:30～

### （仮）「地域アプローチ」による少子化対策の推進に向けて

- **令和4年度モデル自治体による「地域アプローチ」の取組プロセスと成果報告**

※登壇自治体

【栃木県】佐野市、日光市、栃木県

【長野県】上田市、千曲市、長野県

【三重県】名張市、三重県

- **地域におけるデジタル技術を活用した少子化対策の推進に向けた研究会（有識者会議）の研究成果の報告**

※**お申し込みが必要です**。詳細は、後日メールにてご案内いたします。

※内容は変更となる可能性があります。